

2012 年度報告書（研究員）

氏 名	八木綾子
職 位	GCOE 短時間研究員
<p>研究概要</p> <p>インド北西部で、主にジャイナ教白衣派の一派であるテーラーパンタの女性出家者を対象とする実地調査をおこなった。その中で、現地のジャイナ教徒のジャイナ教聖典の用語に対する解釈と、文献学的な立場に基づいたジャイナ聖典にみられる用語の語義解釈の間には多少の相違がみられることに気付いた。その中に「閑居」を表す用語がある。ジャイナ教の出家者の生活は、全面的に在家者の自発的な補助に拠っているといても過言ではない。帰国後は、実際に出家者が人里離れた場所で過ごしていたのか、或いは精神的な面において「離れる」ことを重視するのかを、関連する用語の語義を比較検討した。</p> <p>2012 年 1 月 25 日から 3 月 28 日にかけて、北西インドのラジャスタン州の Ladnun を拠点とする、尊像崇拝を認めないテーラーパンタ派の出家者を対象とした実地調査を行った。強力な統率力をもつ一人の男性出家者が、出家と在家者の集団を率いるこの派では、リーダーが交代して二年が経過したばかりであり、今後の教団の運営を継続して観察していく必要がある。この派に特有の、正式な女性出家者の下位にあるサマニーの制度は、次世代の女性出家者の教育や社会活動の面で、制約の多い正式な出家者の代わりに果たしている役割は大きく、現代社会の実情に沿った実際的な制度であることがわかった。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>論文：「着衣の三条件について」『奥田聖應先生頌寿記念論集』春秋社. 印刷中</p> <p>報告：「テーラーパンタ派の女性出家者について」ジャイナ教研究会. 大谷大学.2012.9.29</p>	